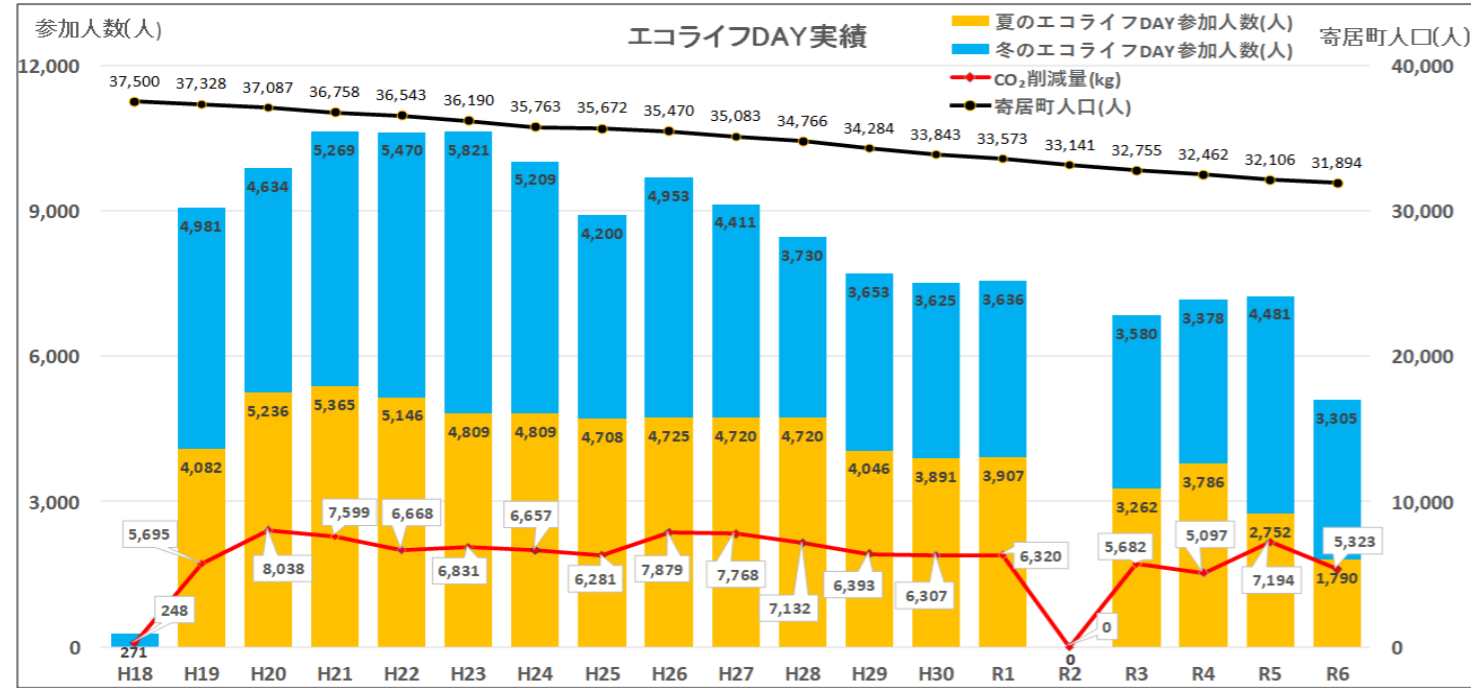


寄居町地球温暖化対策実行計画 令和6年度各事業結果報告

エコライフ DAY

●家庭からの二酸化炭素排出量の削減を目指し、地球温暖化防止のためのライフスタイル定着のきっかけづくりとして始められた県民運動が「エコライフDAY」です。令和6年度には「夏のエコライフ DAY2024 寄居」、「冬のエコライフ DAY2024 寄居」を町内各小中学校の児童・生徒とその家族、教員、町民、寄居町職員を対象に行っています。



寄居町環境配慮行動 2024

●地球温暖化問題について、寄居町では温室効果ガス排出量の削減目標を設定しています。町の事務及び事業に伴う温室効果ガス排出状況を踏まえ、目標達成に向けた取組として寄居町環境配慮行動を行っています。

令和6年度実施報告

全庁で習慣化できている項目が多い中、「照明の清掃」の項目は習慣化できていませんでした。

引き続き習慣化できている項目は継続させ、温室効果ガス排出量の削減に取り組めます。

	項目
空調	冷暖房温度の適正化（冷房時28℃、暖房時20℃）に努める。
	夏季には日照を遮る工夫や扇風機の活用など、空調の利用抑制に努める。
	クールビズ、ウォームビズを実行する。
照明	不要な照明の消灯を徹底する。（休み時間や不在時等）
	照明効率を高めるため、定期的な機器の清掃を心がける。
OA機器	省エネモードを利用する。
	休み時間や不在時は主電源オフを心がける。
その他機器等	使用しない電気機器の主電源オフを心がける。
	無理のない建物階の移動に際しては、エレベーターを使わず階段を利用する。
公用車	停車時のアイドリングストップ、急発進・急停車しないなど、エコドライブを習慣化する。
	近隣での公務には、自転車を利用するなど公用車利用を抑制する。
用紙	会議資料等は両面印刷するなど印刷部数を最小化し、無駄な用紙を省く。
	メモ等には裏紙などを活用する。
ごみの減量・再循環化	庁内LANを活用し、紙使用を削減する。
	廃棄物の分別を徹底する。
節水	備品・消耗品等の購入に際し、リサイクル製品などグリーン調達（環境負荷が小さい製品の購入）に努める。
	備品・消耗品等の購入に際し、簡易包装製品やリターナブル製品などの購入に努め、使い捨て製品を控える。
節水	トイレや洗い物などでの日常的な節水に努める。

よく習慣化されている取組み 習慣化できている取組み 習慣化できていない取組み

エネルギー消費量等調査

○町では、「寄居町地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」に基づき、主に町の施設や公用車から排出される温室効果ガス排出量の削減目標を設定し、その達成に向けた取り組みを行っており、令和5年度には、削減目標を-50%にするなど、計画の見直しを行いました。

令和6年度の町施設の温室効果ガス排出量は基準年度比-30.9%でした。

今後とも町では、令和12年度（計画最終年度）の目標-50%に向け、地球温暖化対策を推進していきます。

基準年度	中間年度目標 (令和4年度)	令和6年度実績	結果
平成25年度	基準年度比 -17.7%	基準年度比 -30.9%	令和6年度の温室効果ガス排出量は令和5年度に比べ対平成25年度増減率が0.8%減少しました。 令和3年度以降はコロナ禍後の公共施設再開等により増加傾向となっていますが、電力調達先の事業者における二酸化炭素排出量の削減に伴い、町施設及び公用車の温室効果ガス排出量も減少しました。

町施設及び公用車の温室効果ガス排出量の推移



省エネ担当者会議

○町は温室効果ガス排出量の削減目標に向け、地球温暖化対策を推進しています。

目標達成に向けて取り組むために、町のエネルギー消費量の把握や環境配慮行動等に関する協議を行うため、職員から省エネ担当者を選出し、「省エネ担当者会議」を開催しています。

「省エネ担当者会議」では、省エネ担当者を中心に寄居町における地球温暖化対策の推進を図るため、「寄居町地球温暖化対策実行計画」に取り組んでいます。

○令和6年度寄居町地球温暖化対策実行計画事業実施内容

- 「夏のエコライフ DAY2024 寄居」の実施 →地球温暖化防止のためのライフスタイル定着のきっかけづくり
- 「冬のエコライフ DAY2024 寄居」の実施 →として夏、冬の2回行う。
- 「環境配慮行動 2024」の実施 →町の事務及び事業に伴う温室効果ガス排出状況を踏まえ、省エネに繋がる行動ができるようにする。
- 「エネルギー消費量等調査」の実施 →町が所有・管理する施設等におけるエネルギー消費量等を把握し、温室効果ガス排出量、推移を確認する。